

**常磐文藝**  
嫁ぐ人に  
平三、提翠  
きみとつぐ日は明日ならん  
今宵の雨に窓をうつ  
わが手に秘めし青玉よ  
人に渡りて雲りなぞ  
きみ嫁ぐ日は明日ならん  
さびしき雨のやみもせず

**和久井漆器店**  
漆器指物  
平町一丁目  
電話四〇五番

**家賃**  
仲間町 四、〇〇〇  
櫻町 四、五〇〇  
平町白銀町 四、五〇〇  
加藤營業所  
電話三三二番

**地賣**  
五丁目十一番  
宅地百六十二坪

**洋食は 向上軒**  
平停車場新道通り  
電話(五二三番)



刊夕日九月九

發行編輯人 川崎文治  
福島縣石城郡平町長崎町廿五番地  
發行所 常磐新聞社

定部金貳錢 廣五號十二  
一ヶ月廿錢 告字語一行  
郵税五厘 料五十錢  
日刊 日曜大祭  
印刷所 本社専屬 陽社

**山古印醬油**  
美味 經濟  
元造讓  
店本屋鹽  
番七二話電

**建築材料**  
磐城セメント 樽入 袋入  
板ガラス 各種  
壁用材料 各種  
ペンキ塗料 各種  
セメント、板ガラス安價になり  
ました、御照會を乞ふ

**西村屋藥舖**  
平町二丁目電話三番

**最高級「サツク」萬年筆**  
天馬空を行く如き賣行  
何人も是非御試を乞ふ  
平町三丁目

**高倉萬年筆製造所**  
東京 瓦斯 **コークス** 値下  
壹俵二付 壹圓卅錢  
壹噸二付 三十三圓  
弊鐵工場が瓦斯コークス販賣元を  
委屬されて滿五週年に達した御禮  
心にコークスの御買上が十俵に達  
しまする毎に有聲座の一等觀覽券  
進呈します

平町見月町  
所工鐵藤佐  
部スクーコ  
(二六三話電) 町見月町平

**寄書**  
不攪生

**財政緊縮の急**  
現内閣の財政緊縮の方針が果して如何なる程度に迄到達すべきであらうかは頗る重大な意義の存する問題である、彼の伊太利のムッソリニの如く、ある時は思ひ切つた政策を取つて自國の立場を安全にするといふ事も必要であらう、米國の如き時に思ひ切つた財政政策を行つて國民の身心を緊張せしめ國運の發展を圖る事がある例へば必要品を製作する工場に資金は是れを低利に融通し贅澤品を

**開業**  
喜樂團子 皿十五錢  
喜樂すし 散廿五錢  
出前は遠近に不拘  
早速お届けします  
早給募集す  
女給募集す  
平館前 **喜樂**  
電話呼出四番

亡父森本輝多  
葬儀に際して  
は殘暑難凌折  
柄遠路態々御  
會葬被下辱に  
御尊奠を辱ふ  
したる段難有  
不取敢以紙上  
御厚禮申上候  
九月九日  
森本盛一  
森本勝二  
外親族一同

製造する工場に對しては特  
に高い利子を以つて融通し  
贅澤品の製作に制限を加へ  
んとするが如き即ちそれだ  
である、政府の方針が斯くの  
如くである以上國民は初め  
政府の思ふ處に向つて進む  
様になるのである現内閣の  
財政緊縮方針が我々國民の  
思ふ氣分迄達成するか徒ら  
に理論のみ多く思ふ様な結  
果を見る事が出来ないのだ  
はなからうか今將に行詰ら  
んとする事はいふ迄もない  
事であるが一も二も三もと  
是れを全体に振りかくる事  
は考へねばならない一方に  
之れを緊縮すると同時に他  
方の今後必要かくべからざ

**株式賣買中值**  
電話に金融致し

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三〇
平銀行	五〇〇	六八〇
磐越銀行	一一五	一〇五
磐城實業	五〇〇	四〇〇
磐城實新	三〇〇	二七〇
田村實銀	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二四〇
同新	一五〇	一八〇
百七銀行	五〇〇	五五〇
同新	一一五	一六〇
七七銀行	一一五	九八
郡山電氣	五〇〇	三七五
同新	二五〇	一七五
只見川電	一一五	七〇
植田水電	一一五	一五五
好間水電	一一五	一三〇
磐城建物	一一五	五〇
磐城製菓	二〇〇	四〇
平信託	五〇〇	二五〇
磐城勸業	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二六〇
平製氷	二五〇	二〇〇
好間軌道	五〇〇	三〇〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	五〇
磐城炭礦	五〇〇	四一〇
同新	二二五	一八〇
磐城セメント	五〇〇	六四五
同新	三三五	四三五
平運送	一一五	八〇

平町田町 電話三三二番  
**丸登株式店**  
川添房二郎

### 馬肥ゆる秋が到来し 運動競技の収穫が多い

鐵腕を揮って壯烈無比  
ヒメ御前も仲間入り

天高く馬肥えて運動のシーズンに到来した、近年非常な勢で平地方に擡頭した運動熱は益々健實な道程をたどつて發達し早くも大運動場を實現の燭光をさい見るに至つたが殊に本年の秋は

### 電話の番號

十二月開通

平局に於ける本年度新設電話は愈々十二日から開通する筈であるが決定番號は左の如くである、

番號	住所	氏名
六五	南町	阿部直記
六六	仲田町	古川四郎
六七	鍛冶町	田中敬吉
六八	鍛冶町	武子國太郎
六九	南町	鈴木ミツ
七〇	一丁目	大沼與之吉
七一	一丁目	警井屋
七二	三丁	前森本盛一
七三	三丁	安藤琢磨
七四	三丁	山野邊義政
七五	三丁	坂本喜平

### 製炭減少

資金難にて

石城、双葉、相馬、濱三郡の木炭業者は大震災の際關東地方に移出した賣掛代金の廻りが思はしくないのと一方金融業者の放資警戒の爲め非常な苦境に陥り製炭山林の買入れ時である今夏の如き全く資金の運轉に窮乏中では破産する者を見るに至つたが是れが爲め製炭數量は一二割方の減少を今

から豫想さる  
明大のコーチ 明大野球團一行は昨日午前中野球場に平第一の野球部を指導した。

### 一時に弊死

好間村に蔓延

石城郡好間村にては天候不順の爲めか鶏に一種の傳染病流行し此程數日間に三四十羽の多數斃死し益々蔓延の慮ある爲め養鶏家は恐慌を來して居ると

### 喜劇 亭主に疑られ 祈禱を施す女が

幕 髮振り乱し日本刀を揮ふ

平町字杉の澤立花三七内縁の妻志賀ヤマ(三三)は神降らしと稱する祈禱にて病氣を治療すると稱し不可思議なる妖術を施す爲め同町字一丁目裏山崎寅次は



家庭 欄

### 防水防火の

障子のほり方

臺所やその他の雨風のあたるところの障子は、西の内(紙の名)に寒天を煮たもの

### 丸龜の賣出し 平町

三丁目中野吳服店にては福引賣出しが十日迄の處非常に好評を博した爲更に十五日迄延期したと

### 無事ならん

當分は快晴

土地によつては日照りの被害もあつたが今後の天候次第では全國的に平作以上は間違ひないといふ、處で氣づかざるのは十一日二百廿日であるが氣象臺の觀測では目下の處高氣壓が小笠原島から本土に掛けて停滞し當分は快晴が続く見込みである

### 不平受付

投書歡迎

牛乳の検査 牛乳検査の際検査官が配達から一本の牛乳を受取つて夫れを持ち歸り折検査する様ですが夫れでは徹底的な検査とは云はれませんから今後は箱車の前方及び中間と後方から一本宛を抜き取つて検査して戴き度いのです

(配達人)

平町平署技手の答 成程御尤もな御説です。今後は貴君の説を参考として検査する事にします

か、または大根のしほり汁を塗つて張りますと丈夫で明るいですが、またフォルマリン糊を、霧吹で吹いてもよろしいです。簡単な事ですからおためしなさい

### 引越の荷造法

瀬戸物などの割れ物は、不用の日本紙をぬらして二重

出身高橋千代子兩女史其他の婦人參政權に關する政談演説ある由

### 益々増へる

牛乳販賣高

平署管内去月の中牛乳搾取高は六十七石八升で販賣高六十石一斗二升五合だが本年二月の販賣高五十四石一斗二升一合に比較すると六石の増加を示し順次牛乳需要家は増加の傾向であると

### 婦人の演説

明日平劇場に

平驛前平劇場に於て明日午後七時より東洋大學出身行川仲子、同じく女子大學

### 遠藤主事出發

平郵便局電信部主事遠藤昇氏は今回遞信省内遞信官吏養成所無電科へ入學許可され本日午前十一時平驛發にて出

### 森局長の出仙

森局長は仙台局長會議に列席の爲め十五日出仙する

### 平町人事

- ▲出生 須田米治氏二女久美
- ▲結婚 山口吉治氏(四七)同伊藤ヨシ(四)
- ▲死亡 鈴木ソノ(五〇)
- ▲古銀治 柴田ふつ(二六)

### 後援會

會が發會された、斯ふなると姫御前を網羅する磐城高等女學校でも負けては居ず大いに新時代に處する女子としての意氣込みを示して寧ろ男子の荒膽をひしがんものと廿日午前九時から開かれる安積

### 常磐片々

病氣を療す妖術を心得た女亭主には施すに術なく遂に及物ザンマイ

日本刀を片手にドロドロと平署に天降つた處なんかは確かに芝居の忍術ンツクリ

ヨウヨウ待つてましたア

明日平劇場にて婦人參政權論者が「エヘン、殿方はア」と黄色い聲で長講

一席

### 養蠶に

化病發生

石城地方に於ける晩秋蠶は掃立量も多く繭價の昂騰を見越し非常なる意氣込で飼育して居るが昨今天候不良で蠶兒に硬化病發生する爲

郡衛より左記通牒を發した

一、稚蠶期中にあるものは特に桑葉の充實せる軟葉を給する事  
二、蠶室には補温装置を爲